
日 時 : 令和3年7月15日(木) 午前10時00分 ～ 午前11時00分

会 場 : サウスピア 9F 多目的室

事 務 局 : 管理部長、管理部参事、教育政策室長、教育政策室長補佐、教育政策室主査
学事課長、学事課学務係長、学校施設課長、学校施設課長補佐、学校施設課計画係長
都市公園課長、都市公園課計画係長、スポーツ振興課長

資 料 : ① 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の新設について

② 武蔵浦和駅周辺地区小・中学校 過大規模校・大規模校の解消について

【令和2年12月9日 都市経営戦略会議資料(抜粋版)】

③ 義務教育学校について

以下、質疑応答の概要を記す

- 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の新設により、各学校の規模の平準化を図るためには、通学区域の再編成は避けては通れない。
- 新設校はおよそ2,000人の児童生徒数となるが、それに見合った形での施設整備を進めていく。
- 既存の校舎を増築していくことでは、子どもたちに適切な教育環境、具体的には1人あたり校庭面積など、を確保していくことが非常に困難であるため、3校舎で1つの義務教育学校とする学園構想としている。
- 転入・転出した子どもへの対応については、他の公立学校における転出入と同様に、転入元・転出先の学校と連携を取りながら、保護者や子どもたちにも生徒指導や教育相談を丁寧に行うことで、その子に不利益が生じないように対応していく。
- 新設する義務教育学校では、学力向上のみならず、心の豊かさについても、特別活動等の特徴づけをもったプログラムを構築していくことで、地域の皆様に誇っていただける、地域の皆様の添えるような学校づくりを目指していく。
- 令和10年の開校を予定しているが、1年でも早い開校に向けて取り組んでいく。
- 児童生徒数の推計は、住民基本台帳に基づくものであるため、令和8年度までしか示せておらず、今後の少子化・人口減少局面について、また人口流入による社会増については含まれていない。
- 内谷中学校を1年生から4年生が使う場合には、小学校児童が使える形に校舎を転用する。
- 南区、とくに武蔵浦和地区は公園が非常に少ない地域であるため、沼影公園の「代替地の検討・確保」を進めていく。まず、沼影プールの西側にある埼玉県職員の職員住宅用地(約2,000㎡)を令和4年度に取得予定であり、それ以降についても代替地の確保を検討していく。

以上